

—熊本・私の故郷—

私の喜びは、一人でも多くの人を神を信じるようになること。だから教会も信者も伝道師も少ない外国に行けば、多くの人を導くことができると聞いて、ここへきたわけです。日本で37年間、福音伝道ができたことに、私は心から感謝しています。

日本そして熊本は、最初から大好きでした。でも熊本は、冬は底冷えがして本当に寒いし、夏暑いですからね。ちょうど一番熱心に伝道したときが夏で、うちわしかない頃です。そのあと高森にきたのですが、私に高森の気候がとてもあっているのです。私が生れ育った所がカナダの大草原。似ていたのですね。高森は涼しい。自然がきれいだし、人もいいし、高森は天国、のひと言につきます。

3年前から私は長距離サイクリングを始めました。というのは日本中そして

アジア中を旅行しているオーストラリア女性が、ここに一泊したのですが、彼女との出会いが一つの刺激となったのです。その後九州を4回、自転車で旅しました。熊本は九州の中心にあるので動きやすいのです。さらに今年は本州に行く計画をたてています。私は60歳になってから、

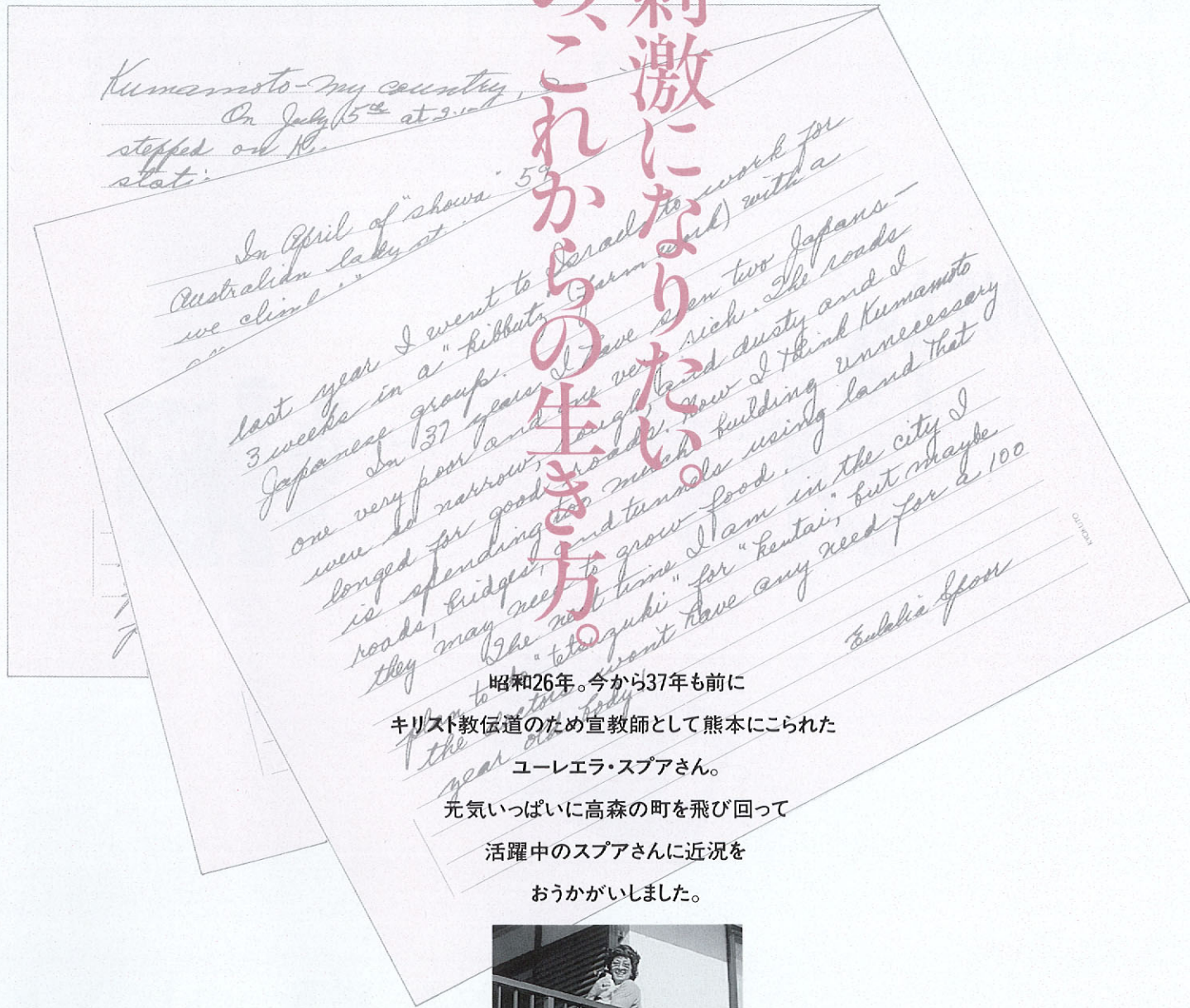


長距離サイクリングを始め、富士山に登り、エアロビクスを始め、年に一度家族と草千里でそりすべりをしたりします。昨年、は、イスラエルへ行き、3週間キブツという農場で働きました。みんな60歳になってからのことです。

私のこれからの生きる目的は、若い人達へ刺激を与える人でありたいということ。若い人のお手本になりたいですね。年をとることは何も絶望的なこと、恐れること、悲しいことでもなくて、人生の終りでもありません。私は、年をとっても活動的で、自由で、健康であるということ、年をとりにくく若い人に、私の身をもって訴えたいのです。私は現在63歳ですが、あと37年で100歳です。それで私は、今から第2の福音伝道期だと思っています。今度献体の手続きに熊本市へいくつもりです。けれどお医者さんは、100歳の年老いた身体は、必要ないというかも知れませんが……。



若い人の刺激になり
これが私の、これから
の生き方



昭和26年。今から37年前に
キリスト教伝道のため宣教師として熊本にこられた
ユーレエラ・スプアさん。

元気いっぱい高森の町を飛び回って
活躍中のスプアさんに近況を
おうかがいしました。



高森キリスト教会
伝道師 ユーレエラ・スプアさん
カナダ・サスカチュワン州生まれ
(63歳)